

SHOW HEYシネマルーム

★★★

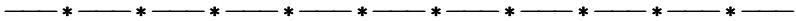


Data

監督:スタンリー・キューブリック
出演:トム・クルーズ/ニコール・キッドマン

👁️👁️ みどころ

ちょっとHな、スタンリー・キューブリック監督の「趣味的」な作品。
倦怠期のカップルに最適。ニコール・キッドマンの美しさにはただ感動。



<何とも思わせぶり>

この映画は、予告編を何回も観た。鏡の前で、ニコール・キッドマンが全身ヌードとなり、トム・クルーズとの濃厚なラブシーンが数分間続く。あの女優のニコール・キッドマンがここまでやるか、と思わず唾を飲み込んでスクリーンに見入ってしまう。とにかく、キッドマンのヌードはきれいな一言。その間、字幕も何もなく、一風変わったリズムのバックミュージックが流れるのみ。

「アイズ ワイド シャット」(「EYES WIDE SHUT」)というタイトルも、思わせぶりだし、この予告編も思わせぶり。期待をもたせるのに十分な演出である。監督は、有名なスタンリー・キューブリックだ。

封切りと同時に、この映画を観た。ストーリーは割と平凡。

主人公は、一人娘のいる裕福な一組の夫婦、トム・クルーズとニコール・キッドマン。しかし、妻が、ある男性に性的好奇心を示したことから、夫には妻に対する猜疑心が生まれ、また自分の中の性的欲望にも気づく。そして、夫が出かけたのは、何ともエロチックな館。夫は欲望に身をまかせ、夫婦、家庭は破綻しそうになるが……。

<倦怠期の夫婦におすすめ>

実は、予告編であれだけ濃厚なセックスシーンがあるのだから、本編はもっとたくさん
のセックスシーンがちりばめられているだろう、と期待(?)して観にいったが、実は予
告編で見せたものが1番ハードなもの。本編は、思わせぶりのシーンは至るところにある
ものの、サワリだけで次のシーンへ、となってしまう。何となく欲求不満。

「お前は芸術鑑賞にきているのか、それともポルノ映画を観にきているのか」、と聞かれ
ると、困ってしまう。正直に言えば、2:8位の割合で、後者に重点があると言わざるを
得ない。従って、後者の観点からは「物足りなさ」を禁じ得ないが、それでも「ああ、観
ておいてよかった」という満足感は十分にある。

何となく、あやしげな雰囲気を楽しむ、また、けだるい気分にはひたりたい人には最適の
作品。でも映画を見終わった後は、モヤモヤの処理が大変かも・・・。

おっと、実は、私はこの作品を1人で観たからいけなかったのかもしれない。目下、恋
愛進行形のカップルや、ちょっと倦怠感の出ているカップルが観れば、きっと刺激を
受けて、いい作品と思うだろう。まして、若干セックスレス状態となっているような倦怠
期の夫婦が、この映画を観て刺激を受けて、愛のあるセックスに励むことになれば、この
映画を観た効果は抜群だろう。

ちょっと下品な評論かもしれないが、キューブリック監督も、きっとこんなことを狙っ
ていたのだろうと思う。

2001 (平成13) 年10月記